

27 馬術

事故防止のための5カ条

- 1 施設・用具等に関して、安全性を確認する。
- 2 体調の悪い選手、怪我や意欲が低下している選手を確認する。
- 3 馬の扱いについて、その知識や技術が充分であるか確認する。
- 4 活動内容を個々の能力に合わせて計画する。
- 5 初心者に対する安全指導の徹底を図る。

日頃の練習や競技会に潜む危険因子

- 1 施設・用具
 - 厩舎内での管理作業の経験が不足している。
 - 悪癖馬に対する接し方の経験が不足している。
 - 練習場の周囲に張り巡らした木柵の破損がある。
 - 練習時に使用する障害物の破損がある。
 - 練習場の用具、障害物補修作業における機械用具操作の経験が不足している。
 - 馬具の管理に不備がある。
 - 試合用具の整備が不十分である。
- 2 競技の特性
 - 男女が同じ条件で競え、他の競技者との接触がない。
 - 馬という生き物の管理方法や操作方法を身につける必要がある。
- 3 練習方法等
 - 準備運動の不足や体調管理の不徹底がある。
 - ヘルメット等の安全用具を装着していない。
 - 個々の生徒の技能が不足している。
 - 馬装用品の破損等を確認していない。
 - 長時間の練習により疲れや気の緩みが生じやすい。

事故防止のための安全対策

- 1 競技会場、練習場所、用具等の安全点検を行う必要がある。
- 2 体調に留意し、水分補給や休息をとる必要がある。
- 3 生徒の技能に応じた練習内容の工夫をする必要がある。
- 4 馬に接するための扱い方を指導する必要がある。
- 5 皮革製品に保皮油などを使って十分な手入れをする必要がある。
- 6 家畜用も含め応急処置に必要な医薬品を準備する必要がある。

